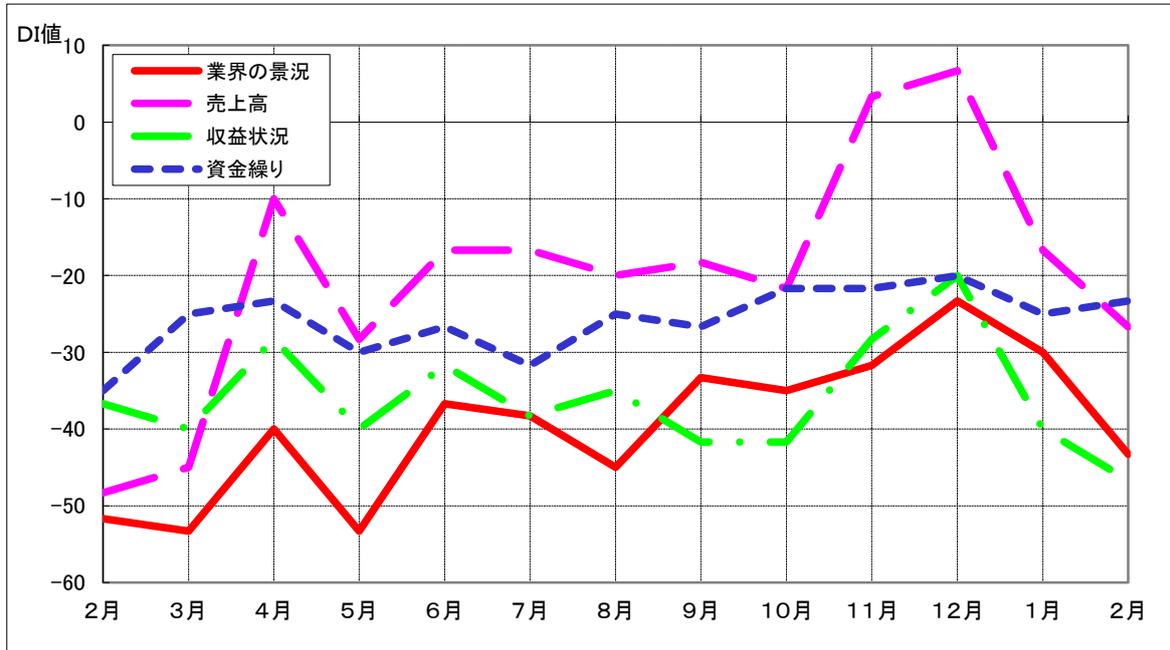


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年2月～令和4年2月

単位:ポイント



	R3						R4						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
業界の景況	-51.7	-53.3	-40.0	-53.3	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3
売上高	-48.3	-45.0	-10.0	-28.3	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7
収益状況	-36.7	-40.0	-28.3	-40.0	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7
資金繰り	-35.0	-25.0	-23.3	-30.0	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3

2月のDI値は前月と比べ、3項目悪化、1項目改善となった。「業界の景況」DI値は13.3ポイント、「売上高」DI値は10.0ポイント、「収益状況」DI値は6.7ポイントそれぞれ悪化し、「資金繰り」DI値は1.7ポイント改善した。また、前年同月比でみると、3項目改善、1項目悪化となり、「売上高」DI値は21.6ポイント、「資金繰り」DI値は11.7ポイント、「業界の景況」DI値は8.4ポイントそれぞれ改善し、「収益状況」DI値は10.0ポイント悪化となった。

製造業においては、材料価格や資源価格の高騰による収益性の悪化が報告されている。多くは、値上がり分を販売価格へ適切に転嫁したいが、価格競争など様々な要素により、実行が難しい企業が多い。また、飲食店が取引先の企業は「まん延防止等重点措置」の影響で需要が減少し低調に推移している。その他にも、世界情勢の悪化を受けて、さらなる値上げや調達難の発生を懸念している意見が多かった。

非製造業においては「まん延防止等重点措置」の影響による売上減少の報告が目立った。専門料理店では休業、ホテル・旅館では休館の報告が相次いで見受けられた。飲食・物販と幅広い範囲において、人流・来客は減少し、予定されていたイベントも中止となった。依然として新潟県内の感染者が多いことも、春に向けた不安要素となっている。

組合からの特記事項としては、新型コロナウイルスへの感染や、家族が濃厚接触者として特定され出勤禁止になるなど、緊急対応が発生し人材のやりくりで苦慮しているとの報告があった。

長期化する新型コロナウイルスの影響を受けて、国及び地方自治体では様々な助成事業を行っているが、「まん延防止等重点措置」の適用を受けて経営状況が悪化した事業者は多く、事業復活支援の強化を望む声が上がっている。